

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

9月3日(木)発表の気象庁による1か月予報では、北日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。東・西日本では、今後1か月程度は気温の高い状態が続き、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

直近3年間において、9月には1か月当たり約300～400人が農作業中等の熱中症により救急搬送されており、残暑が続く中、8月を過ぎても熱中症リスクは依然として高い状況にあります。引き続き熱中症対策を徹底してください。また、農林水産省では7～9月に熱中症等対策声かけ期間を実施しています。「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、家族や地域で声をかけあいましょう。

普及指導員の皆様におかれましても、農林水産省 WEB サイトに掲載している研修等の啓発資料をご活用いただき、農業者に対する熱中症対策の啓発や、熱中症等対策声かけ期間の周知にご協力いただき、農作業中の声かけ強化をお願いいたします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/koekake.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 機械・安全ユニット

(担当：藤田) (03-6744-2107)

◆グリーンな栽培体系への転換に向けた産地の取組を支援します！

「グリーンな栽培体系加速化事業」の要望調査実施中！

令和8年9月7日(月)から10月5日(月)まで、「グリーンな栽培体系加速化事業」の要望調査を実施しています。

本事業では、環境にやさしい栽培技術や気候変動適応技術とともに省力化に資する技術を取り入れた「グリーンな栽培体系」の検証や、検証に必要なスマート農業機械等の導入を支援します。

農作物への影響や費用対効果等に関する不安から導入が進んでいない技術について、産地の実情に応じた検証を行うことができます。導入を検討している技術がございましたら、ぜひ本事業の活用をご検討ください。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html#ankor-yosan>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 みどりユニット

(担当：藤路、土屋) (03-6744-2107)

◆スマート農業技術の導入等を支援する「スマ転事業」の要望調査を実施中です！

農林水産省では、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入とその効果を高める栽培体系への転換の取組を支援する、「スマ転事業(正式名称：ス

マート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業)」を実施しております。

スマ転事業では、スマート農業技術の導入とその効果を高める栽培体系への転換を一体的に実施する取組に必要な機械導入費等を支援します。

地域型は都道府県を通じて要望調査を実施しておりますので、スマート農業技術の導入にご関心のある農業者の方に周知をお願いいたします。

※広域型の公募は実施しておりません。

▼詳細はこちら

スマート技術体系への転換

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 スマートユニット

(担当：宮永、永田、土屋) (03-6744-2107)

=====

◆【10月29日(木)開催】国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム in 関東

=====

農林水産省では、国内資源由来肥料の利用拡大を目指し、先進事例の紹介や新たな技術・知見の提供、関係者間の情報共有を目的としたシンポジウムを開催しています。

本シンポジウムでは、民間団体・農業法人・民間企業(建設コンサル・肥料メーカー)から最新の取組事例等をご紹介します。また、情報交流コーナーでは、登壇者や来場者によるポスター展示・情報発信を予定しており、関係者同士の情報交換やネットワークづくりの場としてもご活用いただけます。

参加は無料で、どなたでもご参加いただけます。事前にお申し込みいただくと、当日の受付がスムーズです。関係者への周知につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

▼詳細・参加申し込みはこちら(外部リンク)

<https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/kanto/>

※お問い合わせ先

(株)マイナビ 農業活性事業部 (03-6267-4019)

農林水産省 農産局 技術普及課 肥料ユニット

(担当：井上) (03-6744-2107)

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和8年度病虫害発生予報第7号」(令和8年9月9日(水)付け)を発表しました

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第7号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、北陸等の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多いと予想されています。

この他、なしのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

○「令和8年度 病虫害発生予報第7号」の発表について（令和8年9月9日（水）付け農林水産省プレスリリース）はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260909.html>

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 国内防除第2班

(03-3502-3382)

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆令和8年度地域特産物マイスター候補者の募集・推薦について

【農産局果樹・茶グループ】

=====

公益財団法人日本特産農産物協会は、地域特産作物（茶、伝統野菜、薬用作物等）の栽培・加工技術などについて、卓越した技術能力を有し、産地育成の指導者となる人材を「地域特産物マイスター」として認定・登録をしています。

普及指導員の皆様におかれましては、積極的な人材発掘、推薦についてご協力をお願いします。

応募期限：令和8年9月30日（水）

応募方法：申請書・推薦書を都道府県の担当部局に提出

認定対象：地域の立地条件や独自の技術により生産される農産物や食品等

対象者：対象となる地域特産物の生産、加工等におおむね10年以上携わっている実践的な農業従事者、農産加工関係者等で、卓越した技術・能力を有し、産地育成の指導者となる人材

▼詳細はこちら

公益財団法人日本特産農産物協会ホームページ（外部リンク）

<http://www.jsapa.or.jp/mister/index.html>

※お問い合わせ先

公益財団法人日本特産農産物協会

(担当：寺田、吉川) (03-6689-9428)

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

(担当：小野澤) (03-6744-2512)

=====

◆＜参加者募集 10 月 1 日（木）＞花粉交配用蜜蜂の需給情報全国会議を開催します！

【農産局園芸作物課】

=====

この度、10 月 8 日（木）、9 日（金）に「花粉交配用蜜蜂の需給情報全国会議 in 栃木県」を開催いたします。

本会議では、園芸作物の安定的な品質及び生産量の確保に向けて、今シーズン
の花粉交配用蜜蜂の増殖・供給状況等に関する情報を共有するとともに、安定供
給に向けた対応策を検討するため、供給側及び需要側の関係者が一堂に会する
全国会議及び現地研修を開催します。

普及指導員の皆様におかれましては、本会議を通して蜜蜂不足に備えた体制
づくりや不足時の対応等についてぜひ参考にしていただければと思いますので、
積極的なご参加をお待ちしております。

▼詳細はこちら

○（一社）日本施設園芸協会HP（外部リンク）

<https://jgha.com/youhou1008/>

○お申込みは、以下リンク先の申込フォームに必要事項をご記入ください（外部
リンク）

【申込締切：令和 8 年 10 月 1 日（木）】

<https://business.form-mailer.jp/fms/ab354e49366904>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 園芸作物課 (担当：石原) (03-3593-6496)

=====

◆「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート（確報）」を公表しました！

【農産局農業環境対策課】

=====

今回の確報版は令和 8 年 3 月 27 日（金）に公表した速報版のデータを確定す
るとともに、地球温暖化による農畜産物への影響、適応策の普及状況、地球温暖
化適応策等に関する参考情報を掲載しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本レポートに示されている影響、適応策
等を参考としつつ、今後とも、適応計画に基づく取組の推進にご協力をお願い
いたします。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/attach/pdf/report->

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

(担当：永尾) (03-3502-5956)

=====

◆農村地域における情報通信環境の整備を支援します！！

【農村振興局地域整備課】

=====

人口減少・高齢化が進む農村地域では、農業の生産性向上や生産コスト低減の実現に向け、スマート農業の導入や農業水利施設等の管理の省力化・高度化への期待が高まっています。農林水産省では、こうした取組を推進するため、光ファイバや無線基地局といった情報通信環境を整備できるよう「農業生産基盤情報通信環境整備事業」により、ソフト（計画の策定）からハード（施設整備）まで一体的に支援しています。

現在、令和9年度以降における本事業の活用意向を確認しているところですので、本事業に関心を有する地区・農業者団体等がございましたら、各農政局地域整備課又は都道府県の担当窓口までお問合せください。

また、「農業農村情報通信環境整備準備会」では、情報通信環境の整備事例の紹介、研修会の開催等を行っていますので、併せて御確認ください。

▼詳細はこちら

○農業生産基盤情報通信環境整備事業の概要

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seibi/sogo/s_seibi/attach/pdf/jouhou_tsuushin-6.pdf

○農業農村情報通信環境整備準備会（外部リンク）

<https://nn-tsushin.jp/>

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 地域整備課

(担当：山下、小泉、河合、堀籠) (03-6744-2209)

=====

◆鳥獣被害対策やジビエ利用に係る優良な取組を募集します！

【農村振興局鳥獣対策・農村環境課】

=====

鳥獣被害対策やジビエ利用に取り組み、全国や地域への貢献している個人や団体を表彰する「令和8年度鳥獣対策優良活動表彰」の募集を行っております。

本表彰は、農村地域等において鳥獣被害防止や捕獲した鳥獣の食肉（ジビエ）、ペットフード、皮革等の利活用等（以下、「鳥獣対策」という。）に取り組み、地域に貢献している個人及び団体を表彰し、これらの優良事例を広く紹介することにより、更なる鳥獣対策の推進を図るものです。

応募方法は、都道府県による推薦又は農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー等による推薦の2通りとなります。普及指導員の皆様におかれましても、本表彰の応募について、ご協力をお願いいたします。

1. 表彰内容

- ・農林水産大臣賞 2点以内
- ・農林水産省農村振興局長賞 6点以内

2. 募集期間

- ・都道府県による推薦

応募者から都道府県鳥獣被害対策担当部署への提出期限：10月30日（金）

※都道府県から鳥獣対策・農村環境課への推薦調書提出期限：11月13日（金）

- ・アドバイザー等による推薦

アドバイザー等から鳥獣対策・農村環境課への提出期限：11月13日（金）

▼詳細はこちら

○令和8年度鳥獣対策優良活動表彰について

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/R8choju-hyousyou.html>

○これまでの表彰者及び表彰団体一覧

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hyousyou_zirei/hyousyou/hyousyou_koremade.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣被害対策技術普及班
(03-6744-7642)

=====

◆農業版 BCP 策定推進のお願い

【経営局保険課】

=====

最近、千葉県や北陸地方での豪雨を始めとして、地震、台風などの災害が全国各地で相次いで発生しており、こうした災害により、想定外の被害を受ける農業経営体も少なくありません。

このため、農林水産省では、自然災害等のリスク対策の一環として、農業者の皆様に対して、収入保険への加入推進を図るとともに、いざというときの対応を整理した計画である農業版 BCP（事業継続計画）の策定を呼び掛けているところです。

農業版 BCP を策定しておくことで、こうした災害に見舞われた場合にも、緊急時に焦らず対応することが可能となり、復旧も早まることが期待できます。

普及指導員の皆様におかれましても、収入保険への加入推進と併せて、農業版 BCP の策定推進にご協力いただきますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○農業版 BCP について

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

○収入保険について

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syunyuhoken/index.html>

※お問い合わせ先

◆(みどり戦略技術紹介) 有機転換・炭素貯留を両立する高機能バイオ炭による
迅速な土壌改良・連作障害緩和・有機質肥料活用技術

【大臣官房政策課技術政策室】

土壌の保水性を改善する機能と、バイオ炭に定着する微生物群による有機態窒素の無機化・硝化を促す機能を合わせ持つ高機能バイオ炭「宙炭(そらたん)」を、有機質肥料とともに撒くことで、土壌改良が進行し、連作障害が緩和されます。本技術により従来、長年かけて作られる土壌の有用微生物群を迅速に土壌内に再現ができます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：その他)p. 9

有機転換・炭素貯留を両立する高機能バイオ炭による 迅速な土壌改良・連作障害緩和・有機質肥料活用技術

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/10_midori_catalog_5_other.pdf#page=9

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

(担当：助川、佐藤) (03-3502-3162)

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください。

のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。